



# 地理・地図資料

帝国書院

2011年度 1学期特別号





# メキシコ

2010年9月、メキシコ取材を行った。先住民とスペインの文化が融合したくらしや、多くの都市問題と向き合う人々のくらしをレポートする。



写真はすべて2010年9月撮影／帝国書院





ソチミルコ（ナワトル語ではショチミルコ）は、メキシコシティの南に位置する一行政区である。ここは1987年にユネスコの世界遺産「メキシコシティ歴史地区とソチミルコ」（文化遺産）に登録された、アステカ文明の遺構が今なお色濃く残るメキシコを代表する観光地でもある。ショチミルコとは、ナワトル語で「花畑」を意味する。写真からもわかるように、ここには背の高い柳の木などに外周を取り囲まれたチナンパ（chinampa）とよばれる長方形の盛り土畑が広がっており、その畑の間に規則正しく配置された格子状の運河（水路）網が、のどかで美しい独特な水郷景観をつくり出している。

かつてソチミルコは、アステカ王国の首都テノチティトランが建設されたテスココ湖の南に立地するソチミルコ湖であった。まだ13～14世紀には、チナンパの分布はわずかに限られていたが、その後15世紀に入り大規模な治水・干拓事業が進められた結果、ソチミルコはテノチティトランの大人口を支える重要な食料供給基地となり発展した。チナンパは、浅い沼沢に木杭を打ち込み、それらを細枝などで結び合わせて矩形の囲いをつくり、そこに水辺に群生するアシや水草類、湖底の泥土、朽ちた枝葉などを敷き詰めて造成された畑である。チナンパ

では、とうもろこし、豆類、かぼちゃ、トマト、とうがらしなどの作物や花卉類が栽培・出荷されてきた。水底から汲み上げられた泥土や、かつてはテノチティトランからカヌーで運ばれたという人糞を肥料としたチナンパ農業は、生産性が著しく高く、とうもろこし栽培の場合、普通の畑地の約1.5倍から時に3倍近い収穫量があった。

チナンパの間を縦横に走る運河を行き交う平底の小舟は、トラヒネラ（trajinera）とよばれる。かつてはソチミルコで生産された作物をメキシコシティに運ぶ重要な交通手段であったが、鉄道やトラックによる物資輸送が主流となった現在、祝祭日を中心に国内や世界各地から来訪する多数の観光客を水郷地帯へと案内する遊覧船として利用されている。色とりどりの独特な絵柄で装飾されたトラヒネラには、家族や恋人たちが貸し切りで乗り込み、船頭の手棹でゆっくりと進む舟上で、美しい景色の移ろいを堪能しながら、飲食や陽気なマリアッチ楽団の演奏を楽しんでいる。また、多数の観光客相手にみやげ物や飲食物、花束などを売り歩く住民の小舟も行き交い、静かな平日とは対照的に、祝祭日には身動きが難しいほどのトラヒネラで運河は大賑わいを見せる。

## 取材レポート

### 帝国書院取材班

成田を旅立ち、ロサンゼルスとパナマ取材を終えたあと、私たちは標高2200m以上の首都メキシコシティに降り立った。スペインからの独立宣言200周年直前で、メキシコ全体が祝祭ムードに沸いているなか、取材を行った。

メキシコシティではまず、巨大なテスココ湖があった頃の名残というべきソチミルコ（写真①）をめぐる。次に、1521年にスペイン人コルテスがアステカ王国を征服し、湖を埋め立てて築き上げた街の中心部を訪れた。現在のメキシコシティは周辺部を含めると人口2000万以上の大都市で、人口集中、大気汚染、地盤沈下などさまざまな都市問題を抱えている。写真③は市内の交通渋滞のようすがみられる。赤いメトロバスが走行する姿

和と排ガス抑制を目的として2005年に運行を開始。専用レーンを設け、市民の足となっているが、慢性的渋滞の解決には至っていない。写真⑤は16世紀建造のグアダルーベ旧大聖堂で、建物に傾きと裂け目がみられるが、これは湖を埋め立てた軟弱な地盤が沈下したことによる。

16世紀半ばに銀鉱がみつきり繁栄した街、サカテカス（写真④）も訪れた。標高2200m以上の高地にあり、銀山は18世紀まで世界有数の生産量を誇った。大聖堂（写真下部）を含む歴史地区は、スペイン植民地時代の面影をよく残しており、世界文化遺産に登録されている。

メキシコ第2の都市グアダラハラも訪れ、写真⑥の市場を取材した。市場では南米原産のトマトやじゃがいも、日用品などが日本に比べてかなり安価で売られていた。また、近郊のテキーラ村で、メキシコの特産品テキーラ酒の原料となるアガベ（竜舌蘭）の畑（写真②）や製造過程を取材した。テキーラ酒は、7～10

年かけて育てたアガベの葉を切り落とし、丸型の茎を蒸して得たエキスを発酵・蒸留・熟成して、製造されていた。アガベ畑の景観は世界文化遺産となっており、世襲制の職人ヒマドルが伝統的な道具を用いて巧みに収穫していた。

メキシコ取材では、先住民とスペインの文化が融合してメキシコの文化になっているようすや、多くの都市問題を抱えつつ明るく前向きに取り組む人々の姿が、印象的であった。

